

第2号様式(第10条関係)

令和6年4月26日

沖縄県会議長 殿

沖縄県会議員

仲村 家治



令和5年度 政務活動費に係る収支報告について

沖縄県政務活動費の交付に関する条例第10条第1項に基づき、別紙のとおり令和5年度政務活動費収支報告書を提出します。



別紙

令和5年度 政務活動費収支報告書

議員名 仲村 家治

1 収 入 政務活動費 1,800,000 円

2 支 出

(単位:円)

項 目	支 出 額	備 考
調査研究費	0	
研 修 費	0	
広聴広報費	1,361,946	議会ニュース印刷代 ポスティング代/離島新聞折込代 著作物使用料(琉球新報)
要請陳情等 活 動 費	0	
会 議 費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	161,630	時事通信デジタル版(4月~3月分)、琉球新報デジタル版 (4月~7月、11月~3月分)
事 務 所 費	85,720	来客用駐車場(4月~3月分)
事 務 費	139,149	パソコンリース代、事務用品購入代
人 件 費	0	個人負担あり(計上せず)
合 計	1,748,445	

注 備考欄には、主たる支出の内訳を記入する。

3 残 余 51,555 円

統一様式①

### 経費区分別支出一覧表

経費区分

広聴広報費

日付	使 途 内 容	支出額	充当割合	充当額
9/8	議会ニュース令和5年8月号 著作物使用料	3,300	全額	3,300
9/8	議会ニュース令和5年8月号 著作物使用料 振込手数料	325	全額	325
9/8	議会ニュース令和5年8月号 印刷・新聞折込代	681,243	全額	681,243
9/8	議会ニュース令和5年8月号 印刷代 振込手数料	495	全額	495
4/3	議会ニュース令和6年3月号 印刷・新聞折込代	676,088	全額	676,088
4/3	議会ニュース令和6年3月号 印刷代 振込手数料	495	全額	495
A. 小計				1,361,946
B. 支払証明書計				
広聴広報費 充当合計				1,361,946

# 領 収 書

No. \_\_\_\_\_

請求日 2023年9月8日

沖縄県議会議員 仲村家治 御中

株式会社 琉球新報  
代表取締役社長 普久原 正  
〒900-8525  
沖縄県那覇市泉崎1-10-3

下記の金額正に受領いたしました

合計(税込)	¥3,300
--------	--------

品目	単価	数量	料金
記事転載料			
令和5年7月13日 記者席「見守りは厳しく」仲村家治記事	3,000	1	3,000
小計			3,000
消費税			300
合計			3,300

備考
著作物転載申請された方 様

担当: 統合編集局デジタル戦略班  
TEL: 098-865-5191

充当割合:政務活動 のみ全額充当

広聴広報費

〈おきん〉をご利用いただきありがとうございます。

**おきん キャッシュカードご利用明細**

●お支払後の元帳残高頭部に「-」印字がある場合は、ご融資残高(総合口座、カードローン)を表わします。

取引内容	取扱日	連続番号	取扱店番
お支払	050908		
銀行番号	取引店番	口座番号	
0188			
万	五千	二千	千
			500:100:50:10:5:1
*****			
センター取引時刻	取引金額		
16:01:17	¥3,300		
センターコード	お取引後残高		
	備考(手数料)		
*****	アスウリヨウ	¥325	
	オツリ	¥0	

お振込先  
琉球銀行

お受取人 カ.リュウキウシンホウウシヤ 様

ご依頼人 ナガムラ イエハル 様

振込日 05.09.08 N010053

◎ 沖縄銀行

# 令和5年6月定例会

仲村 家治 一般質問 / 県答弁 (抜粋)

## 平和行政について

- (1) 今年の慰霊の日の知事の所感を問う
- (2) 各遺族会主催の慰霊祭の実施状況を問う
- (3) 元全学徒の会の詳細を問う

## アチコヨー豆腐冷蔵の対策の進捗状況について

## 道路行政について

- (1) 沖縄県における老朽化により早急な対策が必要な道路・橋梁等について問う
- (2) 県道7号線、小禄交差点の破線引き・カラーアスファルト舗装の進捗状況について問う

(2) 県答弁

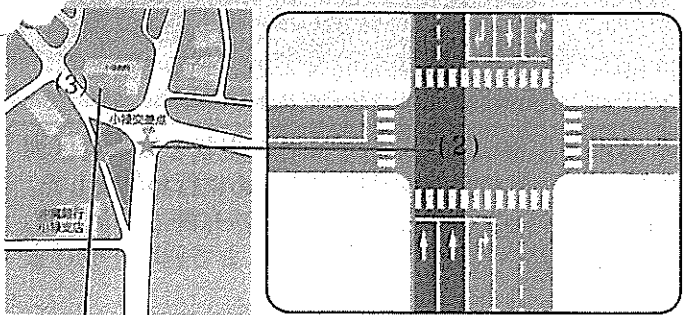
奥武山米須線の小禄交差点、議員御指摘の箇所につきましては、土木事務所と本庁担当課におきまして、現地を確認しております。

今後御提案の内容にあるようなカラーアスファルト舗装等の施工につきまして、適切な対策を実施していきたいと思っております。

- (3) 同交差点のポケットパークと沖銀小禄支店側の横断歩道の白線引き直し及び歩行者安全確保の対策について問う

(3) 県答弁

御指摘の小禄交差点の横断歩道につきましても、道路表示の補修が必要な箇所として、補修工事の進捗を進めており、本年中には完了を予定しているところであります。



- (2) 対抗の右折車両が車線をはみ出て待機するため直進車と衝突の可能性がある。
- (3) 横断歩道の塗装が消えかかっている。

## 海の安心・安全について

- (1) 沖縄県の水難事故の現状、過去3年間のデータも含めて問う
- (2) 自然海岸の管理者である県知事は責任を果たしてきたのか問う

(2) 県答弁

## 広聴広報費

県警察、海上保安庁、沖縄マリノレジャーセーティーパーローなど、関係機関と連携を取りながら、県民や観光客の皆さんが、本当に安全な海での憩いなどが図られるように、水難事故防止に向けた取組等をしっかりと協議をし、また県民や来訪者の方々に注意喚起などを引き続き呼びかけながら、よりよい取組について、さらに研究、検討してまいります。



## 見守りは厳しく

〇…県議会6月定例会の一般質問で県内の水難事故発生状況を取り上げた仲村家治氏（沖縄・自民）。県内は過去3年間、発生件数と罹災者数ともに全国ワーストが続いている。「これまでも何度も質問しているのはワースト脱却へ対策をとってほしいからだ」と熱弁した。日本ライフセービング協会が普及を進めるAIカメラによる海の見守りシステムの導入を知事に提案。「とにかく結果を出す政策を」と求めた。ワースト脱却へ県の対応を厳しく「見守る」。

令和5年7月13日琉球新報掲載

- (3) 各部局による水難事故防止に向けた取組と具体的な達成目標について問う
- (4) 日本ライフセービング協会が普及を進めているAIカメラの設置について問う

(4) 県答弁

AIカメラの設置については、沖縄県水難事故防止に係る検討会議におきまして、導入の可能性について検討する予定でございます。

今後いろいろな情報をしっかりと収集し、その機能、性能、設置可能な場所等、整理しながら検討していきたいと思っております。

- (5) 海浜公園指定管理者選定後の業務内容や関係業者に関するチェック体制について問う

## 我が党の代表質問との関連について

- (1) 今般の外遊計画と地域外交基本方針との関係について再度知事の考えを問う
- (2) 知事の訪中に伴う中国サイドの報道をどう受け止め県民にどう説明するのか問う
- (3) 南大東の農業生産基盤整備の進捗状況を問う

(3) 県答弁

南大東村の農業用水源整備については、貯水池56か所が計画されており、19か所が整備され、2か所が整備中であります。貯水池の整備については、島内に河川がなく、畑に降った雨水を集水し貯留するため、ほ場整備等を先行して実施する必要があります。しかしながら、ほ場整備においては地元の合意

充当割合：政務活動 のみ全額充当

広聴広報費

議会活動報告（仲村 家治版） 印刷部数 34,000 部

（新聞折込 32,280 部、手配り/議会報告会等 1,400 部、予備 320 部）

領 収 証

No.

仲村 家治

様

★ ¥ 681,243 —

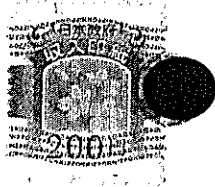
但し印刷代・新聞折込代にて

2023年 9 月 8 日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等 ( % )



いちわ印刷

代表者 新城 英 倫

T901-0146 沖縄県那覇市具志1-3-3

TEL&FAX 098-857-9128

充当割合：政務活動 のみ全額充当

広聴広報費

議会活動報告（仲村 家治版） 印刷部数 34,000 部

（新聞折込 32,280 部、手配り/議会報告会等 1,400 部、予備 320 部）

請求書

いちわ印刷

代表者 新城 英

〒901-0146 沖縄県那覇市具志1-3-3

TEL&FAX 098-857-9122

登録番号

仲村家治 様

2023 年 8 月 29 日

品番	品名	数量	単価	金額(税抜)	✓	摘要
1	県議会活動ニマ	34000	12.00	408000		
2	新聞折込料 新報	15225	6.50	98963		
3	" 新報	15565	6.50	101173		
4	" 新報	755	7.50	5663		
5	" 新報	735	7.50	5513		
6	沖縄県海邦銀行					
7						
8	口座名(イナフ インサツ シンジウ ヒデ"アキ)					
✓は軽減税率対象				10%対象 小計	619,312	消費税額等 61,931
				8%対象 小計		消費税額等
				税込合計	7681,243	

#HISAGO BS635T



〈おきん〉をご利用いただきありがとうございます。

**おきん キャッシュカードご利用明細**

●お支払後の元帳残高頭部に「-」印字がある場合は、ご融資残高(総合口座、カードローン)を表わします。

取引内容 お支払	取扱日 050908	連続番号	取扱店番
銀行番号 0188	取引店番	口座番号	
万	五千	二千	千
500	100	50	10
5	1		
*****			
センター取引時刻 16:00:28	取引金額 ¥681,243		
センターコード	お取引後残高		
*****	備考(手数料) テスウリヨウ オツリ	¥495 ¥0	

お振込先  
沖縄海邦銀行

お受取人 イチラインサツ シンジ ヨウ  
ヒラ アキ 様  
ご依頼人 ナガムラ イエハル 様

振込日 05.09.08 N010052

◎ 沖縄銀行

充当割合：政務活動 のみ全額充当

広聴広報費

折込配布証明書

仲村家治様

チラシ内容	仲村家治議会報告リーフレット				
折込日	2023年08月29日(火)	折込枚数	15,980枚	サイズ	A3

地区		地区		地区
旧那覇地区	8,040			
旧真和志地区	815			
小禄	6,195			
旧具志川村	280			
旧仲里村	325			
渡嘉敷村	50			
座間味村	75			
粟国村	50			
南大東村	100			
渡名喜村	50			

40427446

上記の指定期日通り、(株)琉球新報社に折込配布したことを、ご証明申し上げます。

株式会社琉球新報開発

本 社 / 沖縄県那覇市港町2-16-1  
 TEL (098) 865-5268  
 中 部 / 沖縄県沖縄市仲宗根町25-6  
 TEL (098) 938-3535



充当割合：政務活動 のみ全額充当

広聴広報費

議会活動報告（仲村 家治版） 印刷部数 34,000 部

（新聞折込 31,535 部、手配り/議会報告会等 2,000 部、予備 465 部）

No. \_\_\_\_\_

領 収 証

仲村家治 様

★ ¥676,088 -

但し印刷-新聞折込代として

2024年 4月3 日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等( %)



いちわ印刷

代表者 新城 英 昭  
〒901-0146 沖縄県那覇市具志1-3  
TEL&FAX 098-857-9129

充当割合：政務活動 のみ全額充当

広聴広報費

議会活動報告（仲村 家治版） 印刷部数 34,000 部

（新聞折込 31,535 部、手配り/議会報告会等 2,000 部、予備 465 部）

請求書

仲村家治 様

2024年 3月 28日

いちわ印刷

代表者 新城 英

〒901-0146 沖縄県那覇市具志1

TEL&FAX 098-857-9129

登録番号 T5810040964117

品番	品名	数量	単価	金額(税抜)	摘要
1	県議会活動郵二ツス	34000部	12.00	408000	
2	新聞折込 本島	29915部	6.50	194447.5	
3	" 離島	1620	7.50	12150	
4					
5					
6					
7					
8					
10%対象 小計				614,625	消費税額等
8%対象 小計					消費税額等
税込合計				¥676,088	

✓は軽減税率対象

〒HISAGO BS635T

〒HISAGO BS635T

充当割合：政務活動 のみ全額充当

広聴広報費

〈おきん〉をご利用いただきありがとうございます。

**おきん+ワンカードご利用明細**

●お支払後の元帳残高頭部に「-」印字がある場合は  
ご融資残高(総合口座、カードローン)を表わします。

取引内容	取扱日	通帳番号	取扱店番
お支払	0604030		
銀行番号	取引店番	口座番号	
0188			
万	五千	二千	千
500	100	50	10
5	1		
*****			
センター取引時刻	取引金額		
09:50:11	¥676,088		
センターコード	お取引後残高		
備考(手数料)			
*****	テスウリヨウ	¥495	
	オツリ	¥0	

お振込先  
沖縄海邦銀行

お受取人 イチワインサツ シンジヨウ 様  
ヒデアキ  
ご依頼人 ナカムラ イエハル 様

振込日 06.04.03 N010008

◎沖縄銀行

充当割合：政務活動のみ全額充当

広聴広報費

折込配布証明書

仲村家治 様

チラシ内容	仲村家治 議会報告リーフレット				
折込日	2024年03月31日(日)	折込枚数	15,500枚	サイズ	A3

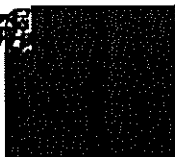
地区	地区	地区
旧那覇地区	7,760	
旧真和志地区	795	
小禄	6,035	
旧具志川村	270	
旧仲里村	325	
渡嘉敷村	45	
座間味村	70	
粟国村	50	
南大東村	100	
渡名喜村	50	

40439594

上記の指定期日通り、(株)琉球新報社に折込配布したことを、ご証明申し上げます。

株式会社琉球新報開発

本 社 / 沖縄県那覇市天久905番地  
TEL (098) 865-5268  
中 部 / 沖縄県沖縄市仲宗根町25-6  
TEL (098) 938-3535







# 広報紙充当可能割合確認票

議員名

仲村 家治

広報紙名	紙面割合
仲村家治 議会活動ニュース 令和5年8月号	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全体面積: <math>29.7\text{cm} \times 21\text{cm} \times 4\text{面} = 2494.8\text{cm}^2</math></li> <li>● 充当対象外記事: 面積計 = <math>0\text{cm}^2</math></li> </ul> FALSE ● 充当可能割合: $1 - (0\text{cm}^2 / 2494.8\text{cm}^2) = 1 \approx 100/100$ 以下
仲村家治 議会活動ニュース 令和6年3月号	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全体面積: <math>29.7\text{cm} \times 21\text{cm} \times 4\text{面} = 2494.8\text{cm}^2</math></li> <li>● 充当対象外記事: 面積計 = <math>0\text{cm}^2</math></li> </ul> FALSE ● 充当可能割合: $1 - (0\text{cm}^2 / 2494.8\text{cm}^2) = 1 \approx 100/100$ 以下

沖縄県議会議員

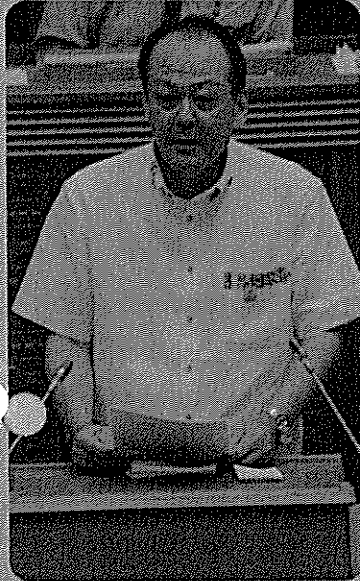
# 仲村 家治

会派・沖縄・自民党

令和5年8月号

沖縄県議会

〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎1-2-3 6階  
電話:098-866-2754 FAX:098-866-2773



沖縄県議会議員として3年目を迎え、様々な貴重な経験をさせていただきながら、諸問題の解決に向け取り組んでいるところであります。

この3年間は新型コロナウイルス感染症との戦いでもありました。感染拡大を受けて数次の緊急事態宣言に伴う外出自粛や飲食業の休業、学校の休校など、感染防止対策に追われました。

この5月からは感染症5類移行に伴い、日常生活はようやく普段通りに戻りつつありますが、未だ感染終息とは言えず、引き続き感染防止に気を付けなければなりません。

さて、このたび令和5年2月、6月定例会、そして県議会自民党会派の活動をまとめた議会ニュースを発行いたしました。

令和5年度沖縄県一般会計予算につきましては、ウィズコロナからポストコロナの生活様式に見合った社会の実現を目標として、8,614億円の予算を策定しております。

私はこれからも県民の命と暮らしを守り、感染症対策と県経済の再生、安全・安心な社会の構築、沖縄の自然と歴史、伝統、文化の継承・発展などに向けて、県政を質し、課題解決に全力で取り組んで参ります。

## 令和5年2月定例会

仲村 家治 一般質問/ 県答弁 (抜粋)

### 平和行政について

- (1) 旧私立開南中学校の調査の進捗状況を問う
- (2) 沖縄県のシベリア抑留者の調査等を問う

### 那覇港管理組合が進める港湾計画改訂について

- (1) 国事は独自に国に要請行動を行うのか問う
- 第十一管区海上保安本部と沖縄県の連携等について
- (1) 漁業関連法令の啓発について、県の考えを問う

### 小禄道路整備での飛び地返還合意内容について

### 海の安心・安全について

- (1) 沖縄県の水難事故の状況を問う
- (2) 第十一管区海上保安本部と OIST の業務協力に関する協定書、包括業務協力協定の内容について問う
- (3) 宮古島前浜ビーチの安全条例について問う
- (4) 水難事故の状況に対して、県関係各部は次年度の対策・予算をどう取り組んでいるのか問う

### (4) 県答弁

文化観光スポーツ部では、現在、海のハザードマップシステム等の安全啓発ツール制作に取り組んでおります。次年度は約2900万円を計上し、ホテル空港等での海の安全に関する広報に加え、ビーチや海岸に近づいた際の携帯位置情報を活用した情報通知等、安全啓発ツールの機能改善に取り組むこととしております。

### (4) 県答弁

知事公室では、水難事故防止に係るワーキンググループを開催し、各機関が実施する取組について意見交換を行うとともに、県民観光客への周知方法等、課題解決方法等の協議を行っております。令和4年12月に意見交換を行った一般社団法人沖縄ライフセービング協会と、事故防止に係る体制強化のための取組について認識を共有しており、ワーキンググループへの参加にも同意いただいております。令和5年度は、見えてきた課題解決のため、各機関と連携しながら取り組んでまいります。

- (5) ライフセービング選手権大会等の沖縄県開催を誘致してはどうか問う

### 街路樹や樹木の病害虫対策の状況と対策について

### 県答弁

今年度は、久米島の県管理道路における健全な松のうち、五枝の松周辺の1148本に樹幹注入による対策を行ったところであります。

### 我が党の代表質問との関連について

- (1) 那覇港湾施設の跡地利用について、那覇市との連携をどう進める考えか問う

### (1) 県答弁

那覇港湾施設の跡地利用については、知念那覇市長が2月の定例会で施政方針を表明しております。その中で中長期的には、那覇軍港の早期移設を推進して地権者と連携した土地利用計画を策定するということが、また地主会等の合意形成や関係者との連携を深めて、跡地利用の計画策定づくりに取り組むということ

あと産業の進出可能性調査など、様々な視点から取り組んでいくということでした。県も連携して取り組んでまいりたいと思います

(2) 知事は本当に沖縄における自衛隊基地機能を削減すべきと考えているのか問う

(3) 那覇市立病院の建て替え事業の状況及び、那覇市要望額より減額となっている理由について問う

(3) 県答弁

那覇市立病院の建て替え工事については、若干工事の進捗に遅れがございますが、できるだけ令和7年に向け、建て替えに必要な所要額約46億円が確保できるようにしっかりと調整させていただきたいと思っております。

戦後77年が経過した中での平和行政の調査の難しさを感じたのと、私の新聞記事が縁で関係者より、シベリア抑留の書籍を借用させていただき、新たな事実を知ることが出来ました。

「海の安心安全」においては、知事公室、文化観光スポーツ部、県警本部、土木建築部から前向きな答弁を引き出せたと思っております。対策は、まだ道半ばではありますが、大きな前進になったと思っております。

那覇港湾計画改訂の決定により、浦添埠頭の埋め立ての事業化を期待します。

那覇市立病院の建て替えハード交付金の質問で、知事より前向きな答弁をいただき、令和7年の開業に期待が持てました。

反対討論「印象操作。プロパガンダのようだ」

令和5年第1回沖縄県議会  
議員提出議案第1号

仲村 家治

「沖縄を再び戦場にしないよう  
日本政府に対し対話と外交による平和構築の積極的な取組を求める意見書」

2月定例会の最終本会議に、政府の安保関連三文書を受け「沖縄を再び戦場にしないよう日本政府に対し対話と外交による平和構築の積極的な取組を求める意見書」が議題として県政与党から提案されました。私は自民党会派を代表して、反対討論を行いました。(抜粋)

本意見書においては「沖縄の軍事的負担を強化する」「本県の軍事要塞化も進んでいる」という表現がみられます。

たしかに安保関連三文書の中では、国家防衛戦略において南西諸島防衛力の強化がうたわれ、防衛力整備計画において自衛隊基地の施設整備・更新、装備品の調達等が明記されました。防衛体制の強化という事実を「負担」と表現し、県民に対して誤ったメッセージを与えんとする文言は、まさに印象操作と言わざるを得ません。

第二の理由は、防衛力強化が沖縄を再び戦場にするという文脈が意見書において展開されていること

であります。大国との外交関係を優位に展開する意味でも、その裏付けとなる抑止力、防衛力、経済力や情報力などを確保する必要があります。

今般、安保三文書において位置づけられた、反撃能力の保有、南西地域の空港・港湾建設等の整備・強化のほか、南西諸島の安心・安全に資する取組は評価されてしかるべきであります。

また、本意見書において、なぜ日中関係のみ取り上げているのか、理解に苦しみます。

特定の国との関係を際立たせることは、かえって関係悪化を扇動していると受け取られる可能性が否定できず、何らかの思惑や意図があるのではという懸念が残ります。

最後にこの意見書は、我が国の国防を担う自衛隊基地を沖縄県に配備をしないというメッセージが込められております。

50数年前、小禄にある今の那覇基地は米軍の航空基地でした。私の地元であります。復帰が決まり自衛隊基地に移管されました。

米軍同様、自衛隊への反対感情から何が起こるか。一部の県民が小禄中学校の成人式会場の正門に押し寄せて、新成人の自衛隊員を「帰れ」と排除して追い返した事実がありました。

私は子供でしたけども、この光景は目に焼き付いております。そして地域の先輩方が自衛隊との信頼関係を築くため、小禄地区自衛隊親睦会という団体を設立し、自衛隊との親睦を深めてまいりました。

今回また、この意見書が誤ったメッセージとして広がり、昔のように自衛隊反対という雰囲気蔓延することを私は危惧しております。

以上の理由から本意見書には明確に反対表明するとともに、本意見書の再考を求めます。

沖縄を再び戦場にしないよう日本政府に対し対話と外交による平和構築の積極的な取組を求める意見書

令和4年12月16日に閣議決定された国家安全保障戦略、国家防衛戦略及び防衛力整備計画の3つの文書には、反撃能力の保有、防衛体制強化のための南西地域の空港・港湾建設等の整備・強化及び第15旅団を師団に改編すること等、沖縄の軍事的負担を強化する内容が記述されてきた。また、沖縄本島のうるま市をはじめ宮古及び八重山地域へのミサイル配備、航空自衛隊那覇基地の地下化及び沖縄市の弾薬庫建設等、本県の軍事要塞化も進んでいる。

アジア太平洋地域の安全保障環境が厳しさを増していると言われる中、軍事力機能の増強による抑止力の強化がかえって地域の緊張を高め、不測の事態が生ずる危険性が増すことへの懸念は拭えない。また、反撃(敵基地攻撃)能力による攻撃は、相手国からのミサイル等による報復を招くことは必至で、「沖縄が再び「標的」とされる」との不安が県民の中に広がっている。

当該3文書は、中国の対外的な姿勢や軍事動向等を国際社会の平和と安定への最大の戦略的挑戦と位置づけており、南西諸島への軍事的機能の増強が進んでいる現状は、明らかに中国を意識したものである。

一方、日本と中国はこれまで「日中共同声明」をはじめ、「日中平和友好条約」、「日中共同宣言」、「戦略的互惠関係の包括的推進に関する日中共同声明」及び「日中関係の改善に向けた話し合い」等に基づき、両国関係のさらなる深化と諸問題の解決を進め、平和共存の道を歩んできた。

中国は今や日本にとって最大の経済パートナーで、お互いにとって必要不可欠な関係が既に構築されていることから、日中両国は、国民の命を脅かし、アジア太平洋地域において甚大な経済損失を生み出すことがないように緊張緩和と信頼醸成を図り、平和構築への最大限の努力を払うべきである。

よって、沖縄県議会は、日本政府に対し、対話と外交による平和構築への一層の取組により、決して沖縄を再び戦場にしないよう強く求め、下記事項について強く要請する。

- 1 アジア太平洋地域の緊張を強め、沖縄が再び戦場になることにつながる南西地域へのミサイル配備など軍事力による抑止ではなく、外交と対話による平和の構築に積極的な役割を果たすこと。
- 2 日中両国において確認された諸原則を遵守し、両国間の友好関係を発展させ、平和的に問題を解決すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。  
令和5年3月30日 沖縄県議会  
衆議院議長 防衛大臣  
参議院議長 内閣府副大臣  
内閣総理大臣 内閣府特命担当大臣  
外務大臣 (沖縄及び北方対策)



# 令和5年6月定例会

仲村 家治 一般質問/ 県答弁 (抜粋)

## 平和行政について

- (1) 今年の慰霊の日の知事の所感を問う
- (2) 各遺族会主催の慰霊祭の実施状況を問う
- (3) 元全学徒の会の詳細を問う

## アチコーコー切欠存続の対策の進捗状況について

## 道路行政について

- (1) 沖縄県における老朽化により早急な対策が必要な道路・橋梁等について問う
- (2) 県道7号線、小禄交差点の破線引き・カラーアスファルト舗装の進捗状況について問う

### 県答弁

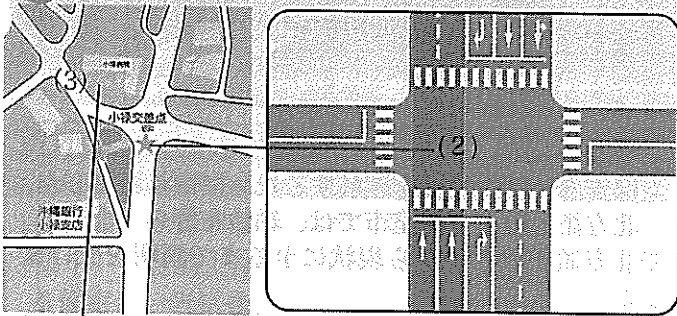
奥武山米須線の小禄交差点、議員御指摘の箇所につきましては、土木事務所と本庁担当課におきまして、現地を確認しております。

今後御提案の内容にあるようなカラーアスファルト舗装等の施工につきまして、適切な対策を実施していきたいと思っております。

- (3) 同交差点のポケットパークと沖銀小禄支店側の横断歩道の白線引き直し及び歩行者安全確保の対策について問う

### 県答弁

御指摘の小禄交差点の横断歩道につきましても、道路表示の補修が必要な箇所として、補修工事の進捗を進めており、本年中には完了を予定しているところであります。



- (2) 対抗の右折車両が車線をはみ出て待機するため直進車と衝突の可能性がある。
- (3) 横断歩道の塗装が消えかかっている。

## 海の安心・安全について

- (1) 沖縄県の水難事故の現状、過去3年間のデータも含めて問う
- (2) 自然海岸の管理者である県知事は責任を果たしてきたのか問う

### (2) 県答弁

県警察、海上保安庁、沖縄マリンレジャーセーティンビューローなど、関係機関と連携を取りながら、県民や観光客の皆さんが、本当に安全な海での憩いなどが図られるように、水難事故防止に向けた取組等をしっかりと協議をし、また県民や来訪者の方々に注意喚起などを引き続き呼びかけながら、よりよい取組について、さらに研究、検討してまいります。



### 見守りは厳しく

○…県議会6月定例会の一般質問で県内の水難事故発生状況を取り上げた仲村家治氏(沖縄・自民)。県内は過去3年間、発生件数と罹災者数ともに全国ワーストが続いている。「これまでも何度も質問しているのはワースト脱却へ対策をとってほしいからだ」と熱弁した。日本ライフセービング協会が普及を進めるAIカメラによる海の見守りシステムの導入を知事に提案。「とにかく結果を出す政策を」と求めた。ワースト脱却へ県の対応を厳しく「見守る」。

### 記者席

令和5年7月13日琉球新報掲載

- (3) 各部署による水難事故防止に向けた取組と具体的な達成目標について問う
- (4) 日本ライフセービング協会が普及を進めているAIカメラの設置について問う

### (4) 県答弁

AIカメラの設置については、沖縄県水難事故防止に係る検討会議におきまして、導入の可能性について検討する予定でございます。

今後いろいろな情報をしっかりと収集し、その機能、性能、設置可能な場所等、整理しながら検討していきたいと思っております。

- (5) 海浜公園指定管理者選定後の業務内容や関係業者に関するチェック体制について問う

## 我が党の代表質問との関連について

- (1) 今般の外遊計画と地域外交基本方針との関係について再度知事の考えを問う
- (2) 知事の訪中に伴う中国サイドの報道をどう受け止め県民にどう説明するのか問う
- (3) 南大東の農業生産基盤整備の進捗状況を問う

### (3) 県答弁

南大東村の農業用水源整備については、貯水池56か所が計画されており、19か所が整備され、2か所が整備中であります。貯水池の整備については、島内に河川がなく、畑に降った雨水を集水し貯留する必要があるため、ほ場整備等を先行して実施する必要があります。しかしながら、ほ場整備においては地元の合意

形成が必要なことから、完成までに時間を要しているところであり、引き続き南大東村と連携して取り組んでまいります。

(4) 複合防災施設の建設を検討している沖縄県トラック協会に対し、予算・補助制度の創設を検討すべきと考えるが県の見解を問う

#### (4) 県答弁

沖縄県トラック協会では、隣接用地の活用に関して、行政、専門家、学識経験者で構成される検討委員会を設置することとしており、県もその委員となる予定です。複合防災施設については、被災リスクの低い立地や地盤、アクセス、面積など様々な項目を検討する必要がありますと考えております。

県としては、同委員会への参加を通じ、国等の関係機関とも連携しながら検討を進めてまいります。さらに議員御提案の、他県の既にある民間企業が、新社屋を地域の一時避難所として活用している事例等も、ぜひ研究しながら進めていきたいと考えております。

四年ぶりの開南中学遺族会主催の「慰霊祭開催」の報告と、沖縄でバスケットボールを普及させた玉城亀壽（キジュウ）先生が開南中学校の教員であったことを紹介できたことは、開南中遺族会として大変よかったですと思います。

道路行政に関して、県道7号線小禄十字路のカラー舗装や、横断歩道の線引きに対して、土建部長、県警本部長から前向きな答弁をいただきました。

海の安心安全の質問では、関係部局からワーキングチームや現場視察チーム設置等の答弁をいただいたが、AIカメラについては、菌切れが悪かったのが残念でした。これからも、水難事故が減るまで、頑張る所存であります。

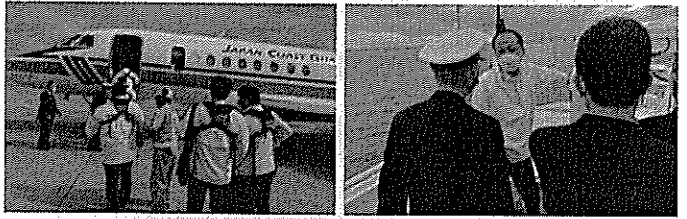
#### 自民党会派 台湾視察 令和4年11月7日～10日



今回の視察は、台湾と沖縄の経済及び観光の相互交流を更に発展させる為、そして東アジアの平和維持と台湾海峡の有事に対する台湾の考え方と取組みについて意見交換をすることでありました。

台湾の経済界、立法議会、行政府、国防・防衛関係者との意見交換会では、私たちが想像している以上に、日本の課題を研究しており、我が会派も調査・研究・研修を重ねる必要があると感じました。また沖縄県として調査・研究することも必要で、議会を通じて質問をしていきます。

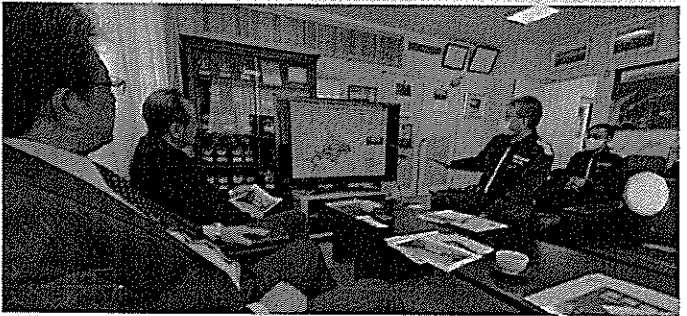
#### 自民党会派 先島海保視察 令和5年2月7日～8日



今回の視察は、沖縄本島、宮古、八重山を担任水域に取る第11管区海上保安部の活動状況をつぶさに視察することで、海上の安全と安心がどのように確保されるのか理解するために行われました。

令和四年の海上保安議員連盟設立を契機として、海上保安本部と情報交換を頻繁にとっており、第十一管区海上保安本部からの提案で実現しました。沖縄県政においても、情報共有していく必要があり、議会において海保の現場の声を取り上げていきたいと思っております。

#### 自民党会派 北海道視察 令和5年4月23日～26日



今回の視察は、北方領土問題の現状と第一管区海上保安部の活動状況を理解するために行われました。北方領土のまち根室市では、納沙布岬の「北方館」で北方領土の歴史から現状に至るまで説明を受けました。

目の前の貝殻島の灯台までわずか3.7km、水晶島まで7kmとなんと近いことか。近くて遠い北方領土だと痛感しました。

元居住者数が約3万5千人とのことで、返還が実現するまで、根室市、国、道も活動を継続するという強い意志が伝わってきました。

また、沖縄の小中学生が毎年豆記者として、訪問しているとの事。交流を大切にしたいと思います。

第一管区海上保安本部根室保安部の視察では、沖縄と同様に国境を抱えており、領海警備、密漁の摘発、海難事故等の対応など緊張感を感じました。